

オプション 出展社ワークショップ

申込締切日：2013年4月19日(金)

「再生可能エネルギー世界展示会」の出展者のみがお申し込みいただけるワークショップです。本ワークショップでは出展者がご来場者に対し、自社のブース以外で製品・技術・企業イメージをPRすることができます。出展と連動したPRに是非ご活用ください。

発表条件：1.「再生可能エネルギー世界展示会」出展者  
2.発表内容は原則として発表会社の製品・技術または企業イメージ紹介に関するものとします。

会場：「再生可能エネルギー世界展示会」展示ホール内特設会場

発表料金：1セッションにつき 105,000円(税込)

発表時間：1セッション 45分(質疑応答時間を含む)

会場設備：(発表料金に含まれるもの)講演台、プロジェクター、スクリーン、マイク、聴講者用椅子(80脚)、受付用のテーブル1台・椅子2脚  
※パソコンは出展者にてご用意下さい。

聴講者募集：本展招待状、及び公式webサイトに「出展者ワークショップ」の発表テーマ・発表会社名を掲載します。

聴講者受付方法：当日受付のみで、セッションごとの先着順受付とし、総入替制とします。また、受付は発表会社が担当し、名刺等により登録いただいた後に入場していただきます。

運営方法：受付業務・司会・進行並びにカタログ等の準備、配布は全て発表会社が行うものとします。

	7/24(水)	7/25(木)	7/26(金)
11:00~11:45	—	E	J
12:00~12:45	A	F	K
13:00~13:45	B	G	L
14:00~14:45	C	H	M
15:00~15:45	D	I	N

オプション 公式WEBサイト バナー広告

申込締切日：2013年4月19日(金)

応募数：①ヘッダーバナー 2枠  
②メニューバナー 4枠

提出方法：データ

画像サイズ：①ヘッダーバナー 横200ピクセル×縦70ピクセル  
②メニューバナー 横170ピクセル×縦40ピクセル

掲載期間：2013年6月3日(月)~7月31日(水)  
※枠が埋まり次第終了となります。



ホームページよりオプションプラン申込書をダウンロードの上お申し込みください。

<http://www.renewableenergy.jp/>

出展スケジュール

2013年	4月19日(金)	出展申込締切(申込受領後、請求書を送付いたします)
	5月上~中旬	出展者説明会(小間レイアウト、併催事業などの発表)
	5月下~6月上旬	広報・宣伝活動スタート(招待状の配布などを順次開始します)
	6月下旬	各種提出書類の締切
	7月22日(月)~23日(火)	搬入・施工
	7月24日(水)~26日(金)	会期
	7月26日(金)	撤去
	9月	報告書送付

出展規定

- ◆出展小間規格 1小間(9m)＝間口3m×奥行3m
- ◆出展料 1小間あたり 399,000円(5%税込)
- 小間形態 お申込の小間数に応じて小間形態が選べます
- 小間装飾高さ制限 1~7小間 …… 2.7mまで、ただし通路および基礎パネルより1mセットバックした部分は3.6mまで装飾可能  
8小間以上 …… 5mまで装飾可能



パッケージブース

- 1小間タイプ …… 84,000円(5%税込)
- 2小間タイプ …… 140,700円(5%税込)

※上記金額に出展料(1小間=399,000円)が加わります。

〈設備概要〉  
●パラベット(H300mm/白) ●社名表示1ヶ所(ゴシック体、黒カッティングシート)  
●床面カーペット(選択色：ブルー、グリーン、レッド) ●受付カウンター1台  
●電気幹線工事費・使用料 1kw ●コンセント1個  
●照明 FL22W=1灯×小間数、SP28W=2灯×小間数  
●備品(折りたたみ椅子1脚、名刺受け1個)  
※その他の追加備品は出展者説明会にてご案内いたします。

特設 中小・ベンチャー企業ブース

- ◆出展小間規格 1小間(4m)＝間口2m×奥行2m
- ◆出展料 241,500円(5%税込) ※基本ディスプレイ込
- 出展条件 中小企業基本法の定義に基づく会社及び個人が対象となります。※申込書を提出の際、証明できる物(会社概要等)を添付してください。通常の3m×3mの小間との併用は出来ません。1社2小間までいたします。

- 壁面：システムパネル・白(W2000×D2000×H2700)
- パラベット：システムパネル・白(H300)
- 床面：カーペット貼り(3色から選択)
- 受付カウンター1台
- 電気：幹線工事・使用料 1KW
- 照明：FL28W×1灯、SP22W×2灯
- コンセント1個
- 備品：折りたたみ椅子×1脚
- 社名表示：ゴシック体、黒 1組

※上記基本ディスプレイは使用しない場合も、料金を差し引くことはできませんのでご了承ください。

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人

申込締切日：2013年4月19日(金) ただし、申込多数の場合、上記前でも募集を打ち切ることがあります。

再生可能エネルギー世界展示会 事務局  
お申込・お問合せ (株)シー・エヌ・ティ 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4F  
TEL: 03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909 E-mail: info@renewableenergy.jp



第8回 再生可能エネルギー世界展示会  
RENEWABLE ENERGY 2013 EXHIBITION The 8th  
[www.renewableenergy.jp](http://www.renewableenergy.jp)

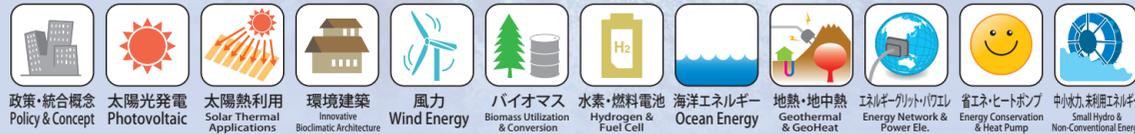
2013年7月24日(水)~26日(金) 10:00~18:00 (最終日は17:00まで) 入場無料

会場 東京ビッグサイト西ホール 主催 再生可能エネルギー協議会

同時開催 PVJapan2013 (共同主催：太陽光発電協会、SEMI)



出展のご案内



展示会事務局 (株)シー・エヌ・ティ 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4階  
TEL:03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909 E-mail: info@renewableenergy.jp

# 日本から世界に向けて、再生可能エネルギーに関する最新情報を発信!!

## 持続可能な地球を創り出す先進技術を集めた「再生可能エネルギー世界展示会」

### 【開催のご案内】

2013年に8回目を迎えます「再生可能エネルギー世界展示会」は、7月24日(水)-26日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて開催致します。2011年の東日本大震災により12月へ会場変更しておりましたが、従来通り夏場での開催に戻ることになりました。また会場は東京ビッグサイトに移り、それに伴い開場時間も延長することを同時開催のPVJapanとともに決定致しました。

再生可能エネルギーの着実、かつ加速度的普及が囁かれる中、本展示会の果たすべき役割は、例年以上に高まっていると考えております。当協議会ではできる限り皆さまのご要望にお応えし、よりよいイベントを創ることで、再生可能エネルギー業界の発展に寄与したいと考えております。

関係各位におかれましては、引き続きご支援・ご協力をいただき、積極的にご参加いただきたく、お願い申し上げます。

再生可能エネルギー協議会  
代表 黒川 浩助

### 開催概要

- 名称：「第8回再生可能エネルギー世界展示会」 The 8th RENEWABLE ENERGY 2013 EXHIBITION
- 日程：2013年7月24日(水)～26日(金) 10：00～18：00 (最終日は17：00まで)
- 会場：東京ビッグサイト
- 主催：再生可能エネルギー協議会
- 共催：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人産業技術総合研究所、財団法人新エネルギー財団
- 後援：経済産業省、環境省、国土交通省、農林水産省、文部科学省、総務省、内閣府、東京都 (以上申請予定)
- 特別協賛：公益財団法人高橋産業経済研究財団
- 協賛：関連約60団体申請予定
- 協力：フジサンケイ ビジネスアイ
- 入場：無料 (登録入場制)
- 事務局：(株)シー・エヌ・ティ
- 同時開催：PVJapan2013 (共催：太陽光発電協会、SEMI)



**再生可能エネルギー協議会**  
Japan Council for Renewable Energy (JCRC)

**Advanced Technology Paths to Global Sustainability**  
<http://www.renewableenergy.jp/council>

### 出展対象

再生可能エネルギーをはじめ、エネルギーと環境の全分野において、地球環境保全に貢献する製品・技術・サービス・周辺機器・情報を募集

 <b>政策・総合概念</b> (国の政策、電力事業の取組みなど)	 <b>風力</b> (大型・小型、部品・材料など)	 <b>地熱・地中熱</b>
 <b>太陽光発電</b> (太陽電池、システム、材料など)	 <b>バイオマス</b> (木質・廃棄物・作物利用による発電・熱利用、バイオ転換技術など)	 <b>エネルギーグリッド・パワエレ</b> (電力貯蔵、系統連系、電力供給システム、制御技術、地域新エネルギープロジェクトなど)
 <b>太陽熱利用</b>	 <b>水素・燃料電池</b>	 <b>省エネ・ヒートポンプ</b> (ヒートポンプ、蓄熱技術、廃熱発電、制御・管理システムなど)
 <b>環境建築</b>	 <b>海洋エネルギー</b>	 <b>中小水力、未利用エネルギー</b>

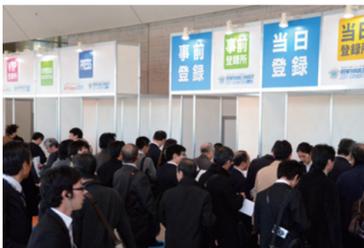
・温度差利用  
・コージェネレーション  
・クリーンエネルギー自動車  
・超電導  
・通信  
・雪氷熱利用  
・環境保全・計測・測定・分析  
・環境金融関連商品、支援制度  
・NPO、NGO  
・その他

### 【全体構成】

#### 展示会

**400社(※同時開催展含)が集結し、最新製品・技術情報を発信!!**

再生可能エネルギー全分野をはじめ、エネルギーと環境に関わる主要企業/団体が出展。地球環境保全に貢献する最新の製品・技術・サービス・周辺機器・情報を発信します。



「PVJapan 2013」と「第8回再生可能エネルギー世界展示会」の2イベントは、「再生可能エネルギー世界フェア」として同時開催し、再生可能エネルギーの情報が一堂に会する場となります。

### 基調講演・国際フォーラム

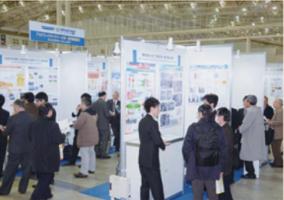
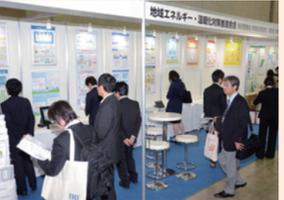
**世界の最先端情報を連日発信する多彩なプログラム!!**

国内外から政府関係者や著名なゲストを迎えて行う基調講演、最前線の研究者が講演を行う国際フォーラム、専門団体が主催するセッションなどを連日実施します。



### 併催イベント

**最新のトピックスを集めたバラエティー豊かなイベントを併催!!**

<p>▶ <b>ワークショップ</b></p> <p>出展者が自社製品やサービスをPRできる特設のプレゼンテーションステージ</p> 	<p>▶ <b>アカデミックギャラリー</b></p> <p>大学研究室等が最新の再生可能エネルギー技術・情報を公開し、産学連携を支援します。</p> 	<p>▶ <b>政策コーナー</b></p> <p>政府や自治体の最新政策情報を紹介する特設コーナー</p> 
--	---	--

その他、多彩な併催イベントを企画いたします

### 基調講演・国際フォーラム計画!

#### ◆ 基調講演

「再生可能エネルギーフェア」の基調講演を開催します。益々重要性が高まっている再生可能利用技術について、我が国と海外を代表し、ホットな政策情報に関する講演を計画しております。

#### ◆ 国際フォーラム

**1 NEDOセッション**  
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) が主催となり最新動向や再生可能エネルギーの導入について講演を行います。

**2 AISTセッション**  
独立行政法人産業技術総合研究所 (AIST) が主催となり再生可能エネルギー技術の取り組みなどを講演いたします。

**3 専門分野別フォーラム**  
主催者である再生可能エネルギー協議会 (JCRC) では12の分野があり、このうち太陽光発電 (分科会2) のフォーラムのみは同時開催のPVJapanで主催されます。JCRCフォーラムは公益財団法人高橋産業経済研究財団によって助成されております。以下にフォーラム開催時の内容を例示します。

■ **政策・統合概念 (分科会1)**  
再生可能エネルギーを中心にした我が国のエネルギー政策、国際的なエネルギー政策、東日本大震災復興プロジェクトの進行、気象予測を最大限に活用した再生可能エネルギー利用、などの紹介。

■ **太陽光発電 (分科会2)**  
国内外の市場トレンドと展望、固定価格買取制度、施工技術、認定制度、太陽電池の種類ごとの技術展開、周辺機器や素材、メガソーラー、システム設計と系統連系など多彩な紹介。

■ **太陽熱利用 (分科会3)**  
太陽熱発電、それに付帯する水素製造、純水化設備など国内でも行われている研究、高効率真空集熱管、複合発電と熱利用、高熱伝導素材や真空技術など太陽熱を有効に利用した技術を紹介。

■ **環境建築 (分科会4)**  
先進的都市型住宅、快適環境とエネルギーのトータルシステム、HEMS, BEMS, 建築部材と耐久性・省エネ性、気候や風土、文化に見合った最適建築設計など次世代も見据えた建築を紹介。

■ **風力 (分科会5)**  
動き出した洋上風力発電の現状と計画、系統連系と電力系統強化、蓄電システムなどのインフラ技術、風況精査や予測技術、風力発電の社会的受容性、高効率風車への技術的挑戦などの紹介。

■ **バイオマス (分科会6)**  
アジアバイオマスに代表されるように特に東南アジア諸国との連携プロジェクト、新しい技術としてのバイオマスリファイナリー、研究の深化が期待される木質系や海藻系バイオマスへの最新技術を紹介。

■ **水素・燃料電池 (分科会7)**  
燃料電池自動車の市場化を控えての自動車側と社会インフラ側の計画、家庭用燃料電池と大型施設用燃料電池の最適化、水素社会への運搬、安全化への変換技術などの紹介。

■ **海洋エネルギー・資源 (分科会8)**  
海洋エネルギー利用の国と民間プロジェクト、波力、潮流、海洋温度差、海洋バイオなどの最新技術、東北地域での復興プロジェクト、洋上風力発電と漁業権、海洋利用に向けた規制緩和と要望などの紹介。

■ **地熱・地中熱 (分科会9)**  
電力買取法と地熱発電の促進、規制緩和、最新地熱探査法、掘削法、地熱回収システム、環境アセスメント、温泉との調和と融和、高効率地熱タービンシステム、地中熱利用の最前線などの紹介。

■ **エネルギーグリッド・パワエレ (分科会10)**  
国プロジェクトモデル地区4カ所の実績報告、コージェネを中心とした電気・熱の融合と効果的利用、高度グリッドシステムとモビリティ、マイクロからマクロまでのスマート構築、パワエレの有効活用などの紹介。

■ **省エネ・ヒートポンプ (分科会11)**  
高効率ヒートポンプ、クラスター型熱制御、広域および地域熱利用の実際と課題、供給側と需要側のコラボ、省エネ材料・素材・媒体など、制御技術と機器設計、機器管理のあり方などの紹介。

■ **中小水力・未利用エネルギー (分科会12)**  
小水力開発と利用法、実証例と改善、中小水力利用可能マップ、先進的小水力発電システム、専用発電機の開発、農業、灌漑、工場、都会など地域での中小水力活用法の紹介。

2012年のフォーラム実績はホームページをご覧ください。 <http://www.renewableenergy.jp/>